

## 1 策定の背景と目的

本市の沿岸部では、東日本大震災をきっかけに津波への不安等を理由に人口流出や地価の下落、企業立地の需要低迷などが長らく続いていました。

そこで、津波避難タワーを併設した渚の交流館や防潮堤の整備など、津波の被害が想定される地域の負のイメージを払拭し将来に向けた対策を進めてきました。

その中で、令和8年度に海岸防潮堤整備(市施工分)完成の目途が立ち、今後は防潮堤を含む地域資源の利活用など沿岸部への関心がさらに高まるが見込まれます。

磐田市沿岸部未来ビジョン(以下、ビジョン)は、本市の沿岸部が、暮らす人、働く人、訪れる人にとってさらに魅力的なエリアとなるよう、現在の地域資源を再確認するとともに、地域の未来に関心を持ち、考える指針となることでその利活用方法など新たな可能性を創出することを目的に策定するものです。

## 2 ビジョンの対象エリアと活用したい地域資源の例

ビジョンの対象エリアは、概ね国道150号の南側とします。



磐田市観光ガイドブック「トラベルバンク」、磐田市市勢要覧2023、磐田市文化財案内図より抜粋

出典：地理院タイル(<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)を加工して作成

## 4 取組イメージ ※これらはイメージであり、確定した計画ではありません

### 【テーマごとの取組イメージ】

テーマ	取組のイメージ		
守り・つなぐ	<b>大規模地震・津波対策の推進</b>  (防潮堤の整備)	<b>自然環境と歴史的資源の保全と活用</b>  (歴史的資源の保全)	<b>地域コミュニティの維持・活性化</b>  (移住体験ツアーの開催)
	<b>新たなカーボンニュートラル産業用地の確保</b>  (産業用地開発可能性調査)	<b>次世代産業を切り口に世界へ最先端技術を発信</b>  (カーボンニュートラル産業用地)	<b>世界に誇れる技術開発の実装支援</b>  (行政保有データの提供)
働き・挑戦する	<b>施設の魅力創出</b>  (渚の交流館バイク乗り場の聖地へ)	<b>回遊性の向上</b>  (官民連携による施設整備)	<b>更なる賑わいの創出</b>  (ビュースポットの発信)
遊ぶ・楽しむ	 (次世代モビリティ導入検討)	 (自然環境を活かしたスポーツイベントの開催)	 (大型フェス等の開催)

## 3 将来像とまちづくりのテーマ

### (1) 将来像

## チャレンジの波が広がる！産業と自然が織りなす賑わいの沿岸部

沿岸部の多彩な産業や自然、そこに関わる人々の活動や想いを結び付けて、それらを継続的に発展させていくとともに、次世代に向けての新たな挑戦を支援することで、更なる魅力向上と賑わいの創出を沿岸部全体に波のように広がっていきます。

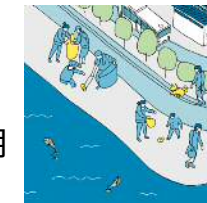
### (2) まちづくりのテーマと取組方針

沿岸部のまちづくりの方向性として3つのテーマを掲げ、将来像に向けた取組を進めます。

#### 【テーマ1】 沿岸部を守り・つなぐ

##### 取組方針

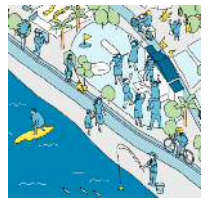
- ①大規模地震・津波対策の推進
- ②自然環境と歴史的資源の保全と活用
- ③地域コミュニティの維持・活性化



#### 【テーマ3】 沿岸部で遊ぶ・楽しむ

##### 取組方針

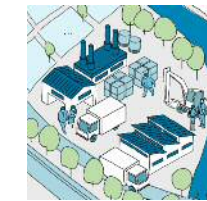
- ①施設の魅力創出
- ②回遊性の向上
- ③更なる賑わいの創出



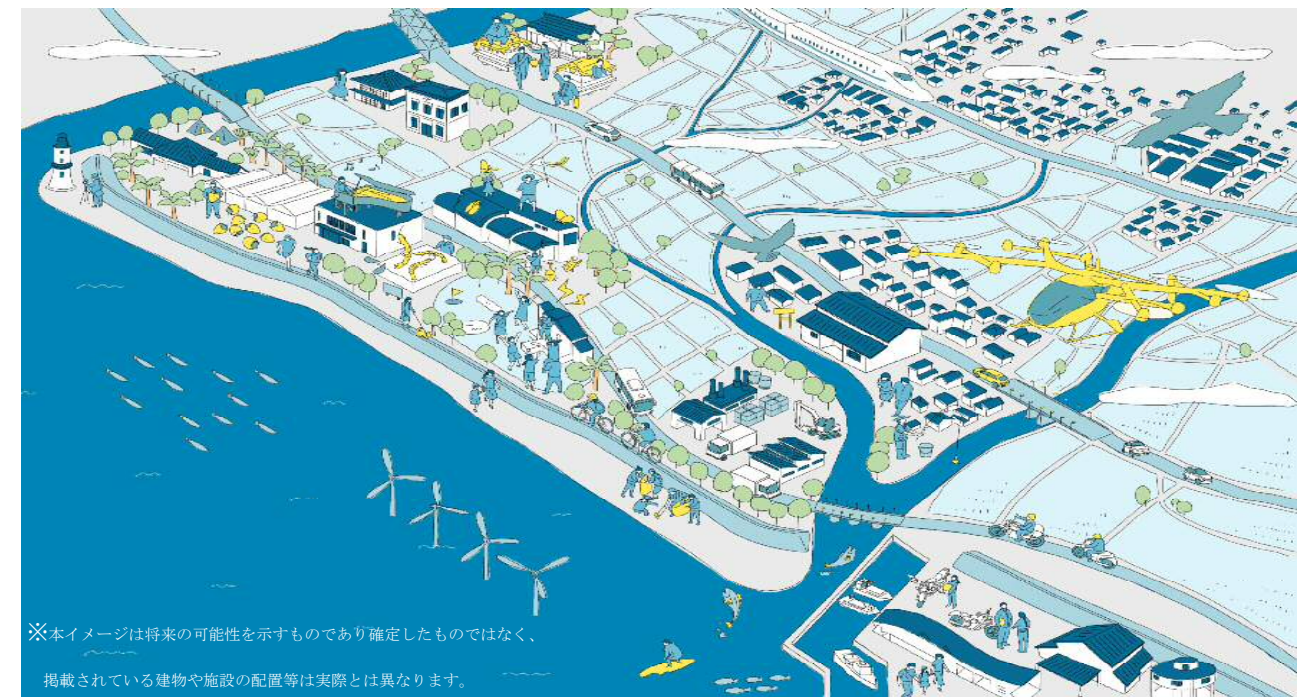
#### 【テーマ2】 沿岸部で働き・挑戦する

##### 取組方針

- ①新たなカーボンニュートラル産業用地の確保
- ②次世代産業を切り口に世界へ最先端技術を発信
- ③世界に誇れる技術開発の実装支援



### 【沿岸部の将来イメージ】



※本イメージは将来の可能性を示すものであり確定したものではありません。  
掲載されている建物や施設の配置等は実際とは異なります。